

デング熱国内感染例の発生について（第4報）

平成26年9月5日に、市内医療機関からデング熱患者の届出が横浜市保健所に提出され、患者の発生が確認されましたのでお知らせします。

関係者調査の結果、患者には最近1か月以内の海外渡航歴はなく、8月26日に都立代々木公園に出かけたことが確認されています。なお、この患者は第3報で報告させていただいた方のご家族です。

1 患者について

居住地	年齢	性別	最近1か月以内の 海外渡航歴	症状	発症日	入院の 有無
緑区	10歳代	女	なし	発熱(39.0℃)、 頭痛、嘔吐等	8月31日	有

2 推定感染地域

関係者調査の結果、患者は8月26日に都立代々木公園に出かけたことが確認されています。また、他にも都立代々木公園周辺に出かけたデング熱患者が複数発生していることが確認されています。

このことから、都立代々木公園においてデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われます。

3 市民の皆さまへ

- 日本国内で海外渡航歴のないデング熱の患者（国内感染）が複数発生していますが、横浜市内で蚊に刺されたことによる感染は確認されていません。
- 海外の流行地域（主に熱帯・亜熱帯地域）に渡航される方は蚊に刺されないように注意することはもちろん、国内でも蚊に刺されないように注意することが大切です。
- ヤブ蚊に刺されて高熱が続いた場合には、蚊に刺されないように注意して、かかりつけの医療機関を受診してください。
- 症状は、ヤブ蚊に刺されてから概ね3日から7日で、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。

4 デング熱について

デング熱は人から人に直接感染する病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することではじめて感染します。また、感染した場合も、一般に一週間前後の経過で回復すると言われています。

お問合せ先

横浜市保健所健康安全課長 岩田 眞美 Tel 045-671-2442、2468